

「文化財防火デー」に 合わせて防火訓練が 行われました

1月22日(日)、佐和田地区の二宮神社で防火訓練が行われました。

この訓練は、毎年全国的に文化財防火運動を展開する「文化財防火デー」に合わせて行われています。

市指定文化財である「二宮神社能舞台」に隣接する社務所から出火したとの想定で、消防署・消防団による放水訓練を実施したほか、地域住民を対象に消火器具の取り扱い講習を行い、防火意識を高めました。



市指定文化財二宮神社能舞台への放水訓練

お問い合わせ

市役所世界遺産推進課
文化財室 文化財保護係
☎ 63-3195

人材バンクへ 登録しませんか！

市では、市民一人一人が生涯にわたり豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習・生涯スポーツ活動における「人材バンク」を充実していきたいと考えています。



このため、人材バンクへ登録し、指導者としてご協力いただける方を募集しています。

登録を希望される方は、市教育委員会社会教育課までお問い合わせください。

また、人材バンクに登録された人材を講師として依頼することができますので、皆さまの生涯学習活動などに、ぜひご活用ください。登録されている人材バンクなど詳細については、市ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

市教育委員会社会教育課
社会教育係 ☎ 66-4160
(生涯学習人材バンク担当)
社会体育係 ☎ 67-7645
(生涯スポーツ人材バンク担当)

「食品ロス」削減に向けて 佐渡市消費者協会の活動

佐渡市消費者協会では、消費生活に関する知識の普及を通して市民の「安心・安全な消費生活」の向上を図ることを目的に活動しています。今年度は、「食品ロス」削減に向けて取り組んでいます。

「食品ロス」とは「まだ食べられるのに捨てられる食品」のことで、日本全体で年間500〜800万トン、毎日一人当たりおにぎり1〜2個分が捨てられている計算になります。(出典：政府広報オンライン)

そこで、「食品ロス」についての意識や消費行動について、市民約300人を対象にアンケート調査を実施しました。

「知っている」や「考えたことがある」人は、全体の約50%。高齢になるほどその割合は高くなっている。

○「廃棄する食品」は？
「野菜・果物」「調理済み食品」「肉・魚類」の順で多くなっている。いわゆる「日持ちのしない食品」が廃棄される傾向がある。

○「廃棄の目安」は？
「期限切れ」という回答が最も多く、消費者の食品の賞味期限への意識が高くなっていることが分かる。

アンケートの結果から、「食品ロス」削減のためには、幼い頃から各家庭の日常生活の中で、『もったいない』の精神を実践し伝えていくことが大切です。

また、食品を買う時は、必要な分だけ買い、余った材料・日持ちしない食材については、工夫して別の料理に活用する方法で無駄なく使い切りましょう。「消費期限」「賞味期限」をよく確認しましょう。

昨年末には、『宴会時の30・10運動』(味わいタイム・乾杯後30分間は料理を楽しむ、食べ切りタイム・お開き前の10分間はもう一度料理を楽しむ)に取り組んでいます。

今後は、市と協力してスーパーや飲食店など事業者へのアンケートを実施して、弁当や惣菜の少量パックや飲食店での少量メニューなどをお願いしていきたいと思えます。

佐渡市消費者協会では、市民のみなさんへ『もったいない』を広げていきたいと考えています。

お問い合わせ

佐渡市消費者協会または
佐渡市消費生活センター
☎ 57-8143